

認知症を発症した 知的障害者への 支援について考える

知的障害のある人の高齢化も定型発達の人の高齢化とともに進んでおり、認知症を発症する知的障害者も少なくありません。認知症の人への支援については、定型発達の高齢者領域で進み、制度・政策の整備が進められる中、知的障害者の認知症にかかる調査研究も徐々に進んできています。

そこで今回のセミナーでは、高齢、障害の両領域における支援と研究の現状について情報を共有し、さらには地域社会において、認知症の人へのさらなる支援と環境の向上を図る機会となればと思い企画しました。高齢者支援に携わる多くの皆様のお申し込みをお待ちしております。

開催方式 ▶ オンデマンド配信

配信期間 ▶ 令和3年2月1日（月）～令和3年3月31日（水）

申込期日 ▶ 令和3年3月10日（水）

参加費 ▶ 1,000円（資料代として ※資料はダウンロードとなります）

公益財団法人東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター
センター長 西田 淳志 氏



大都市における思春期あるいは高齢期の心の不調がどのような環境要因から発生し、どのような治療・介護プログラムが有効なのか。これらのことを実証的に研究し、東京都の自殺防止対策、在宅認知症患者の介護ケア、自然災害被災者のケアなどに役立つ取り組みをされています。

社会福祉法人旭川荘
旭川荘総合研究所
副所長 桑野 良三 氏



元新潟大学教授。認知症の中でも最も多いと言われているアルツハイマー病の発生原因を人間の遺伝子情報であるヒトゲノムの観点から研究されていました。現在は、社会福祉法人旭川荘 総合研究所において知的障害者、またダウン症者における認知症の有病率について全国的な調査をされています。

Contents

【講 義】 高齢領域における認知症支援と研究の現状

講 師 公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター
センター長 西田 淳志 氏

30分

【講 義】 知的障害領域における認知症支援と研究の現状

講 師 社会福祉法人旭川荘 旭川荘総合研究所
副所長 桑野 良三 氏

30分

【実践報告】 認知症及び認知症が疑われる知的障害者に有効な支援とは -ライフストーリーワークの実践をととして-

報告者 国立のぞみの園認知症ケアチーム

30分

申し込みの流れについて

▶ 受講申し込み

■国立のぞみの園ホームページ <https://www.nozomi.go.jp/>

「養成・研修」▶「研修のご案内」▶「国立のぞみの園セミナー 認知症を発症した知的障害者への支援について考える」申し込みフォームよりお申し込みください

▶ 機材と環境の準備

■受講に必要な機材（PC、スマートフォン、タブレット等）とインターネット環境をご準備ください
・動画配信となるため通信料を多く使用しますのでご注意ください（視聴にかかる通信料等は受講者の負担となります）

▶ 参加費の払込について

■申し込みフォームの受付最終画面にて、受付番号と併せてご案内いたします。

- ・画面にて、払込口座をご確認ください
- ・ゆうちょ銀行備え付け払込取扱票に通信欄記入事項（①受付番号、②受講者名、③住所、④振込者名）を明記し払込をお願いします。払込手数料は参加者のご負担となります（窓口203円、ATM152円）。

*払込期間：令和3年3月19日（金）まで

資料ダウンロード・視聴について

■参加費のお振込みが確認できましたら、資料のダウンロードと視聴ページのURLを、お申込みいただいたメールアドレスにお送りします。

※URL送付後のキャンセルはできませんのであらかじめご了承ください

※当法人および著作権者からの許可無く、資料の一部および全てを複製、転載、または配布、印刷など、第三者の利用に供することは禁止いたします。また、録音、撮影等は固くお断りいたします。

お問い合わせ先 国立のぞみの園事業企画部研修・養成課 担当：木村、長井
TEL：027-320-1357
MAIL：nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp